

# 東京大学生産技術研究所×平塚市 連携協力協定の考え方

波力発電関連分野での新産業創出促進事業  
から  
知的対流推進事業へ

神奈川県 平塚市

2024年3月25日

平塚新港 撮影：(株)東京久栄  
平塚波力発電所は撤去済みです。

- 背景
  - 東京からのアクセスが良い市内には、技術力の高い多くの企業の工場、研究所が集積
  - 平塚沖には東京大学の管理する実験タワーがあり、長年の波浪データの蓄積あり
  - 海に面した平塚市は平塚新港を管理
- 社会的課題
  - 地球温暖化（CO2排出抑制が必要）
  - 新たな産業の創出



➡ 産学公の連携で、技術開発や制度設計等による社会的課題の解決を目指す

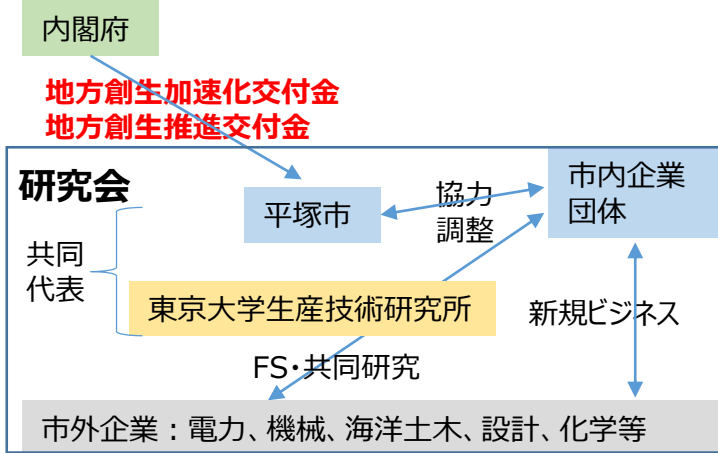


\* 平塚市漁業協同組合と東京大学生産技術研究所は、タワーへの通船で長年協力関係にある。

# 平塚市のこれまでの取組み

取組の成果

## 2016年～2018年 研究会のスタート期

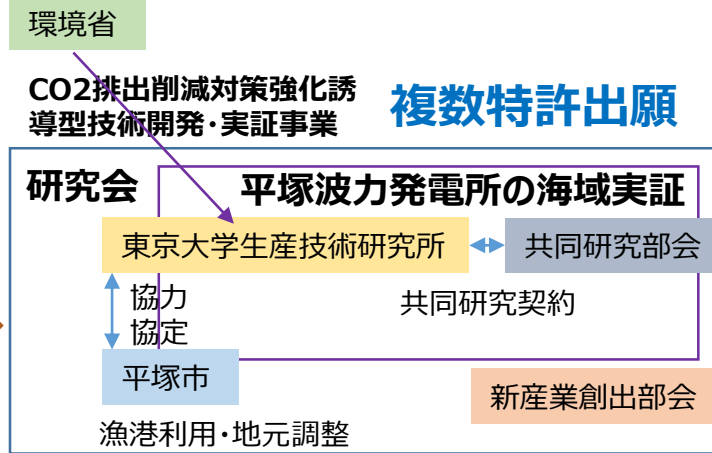


東京大学生産技術研究所及び平塚市の連携協力協定の締結

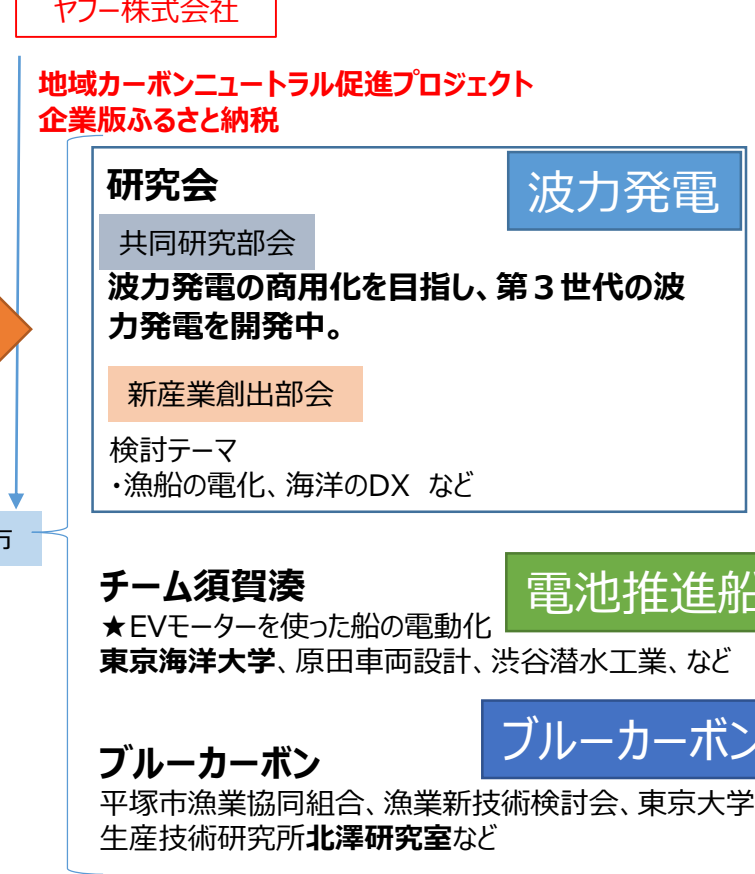
### 平塚海洋エネルギー研究会メンバー


平塚市産業振興部産業振興課、東京大学生産技術研究所林研究室、波力発電等に興味のある企業、団体（市内企業10社、市外企業12社、平塚商工会議所、平塚市漁業協同組合、平塚市電設協会） 発足時。

## 2018年～2021年 海域実証期



## 2021年～2023年 プロジェクトの拡大期



**(株)e-ウェーブR&D設立** 

波力発電の商用化を目指し、(株)東京久栄、(株)ワイテック、CRESS FEED(株)(旧株)サンユウシビルエンジニアリング)、平塚市、個人が出資して波力発電のコンサルティング企業を市内に設立（2021年9月）

<https://e-waverd.co.jp/>

電池推進船

ブルーカーボン

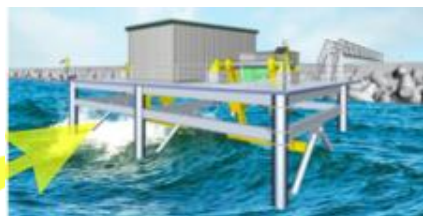
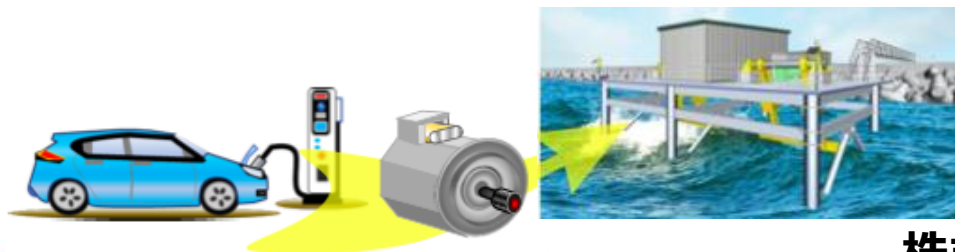
## 波力発電 + 電池推進船、ブルーカーボン

漁業の脱炭素を目指して（2021年度）

1. 実証中の平塚波力発電所を活用した「電池推進船の漁業利用の実証実験」
2. 波力発電装置による海岸保全の社会意識の醸成
3. **ブルーカーボン**実証実験：波力発電所を活用した藻場の造成によるCO2固定

- ◆ 参画する大学・企業等の拡大
- ◆ 企業や大学からの新しい提案がプロジェクトへ発展

➡ **Yahoo! JAPAN**  
地域カーボンニュートラル促進プロジェクトへ応募し採択！  
<https://about.yahoo.co.jp/pr/release/2021/08/24a/>



(発電所周辺のワカメ育成試験)

(新港内で生育したワカメ)



## 企業版ふるさと納税実績

ヤフー株式会社から

2021年度 2,400万円

2022年度 3,000万円

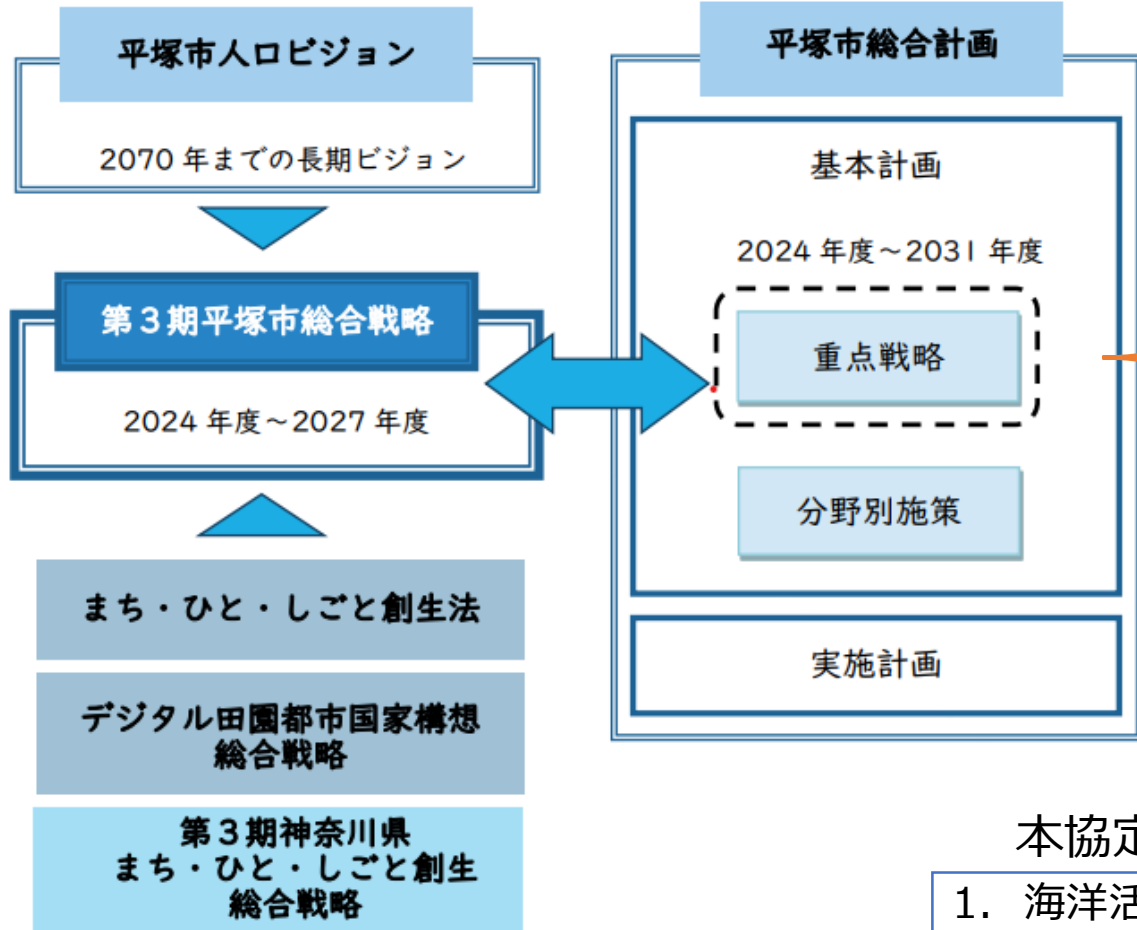
株式会社ウイルプラスホールディングスから

2023年度 100万円



成果は毎年WEBや講演等で情報発信

平塚市は第6回（令和5年度）企業版ふるさと納税に係る大臣表彰を受賞



## 重点戦略2 活気あふれる産業づくり

(1) 技術力・競争力を向上する

### ◆基本的な方向性

●産業の持続可能性の向上と基盤産業の集積に向けた投資を促進するとともに、**デジタル化や脱炭素化などの新市場への参入が期待できる技術開発や実証プロジェクト**などを誘致し、**研究開発拠点化**や製品化を推進します。

### ◆主な取組

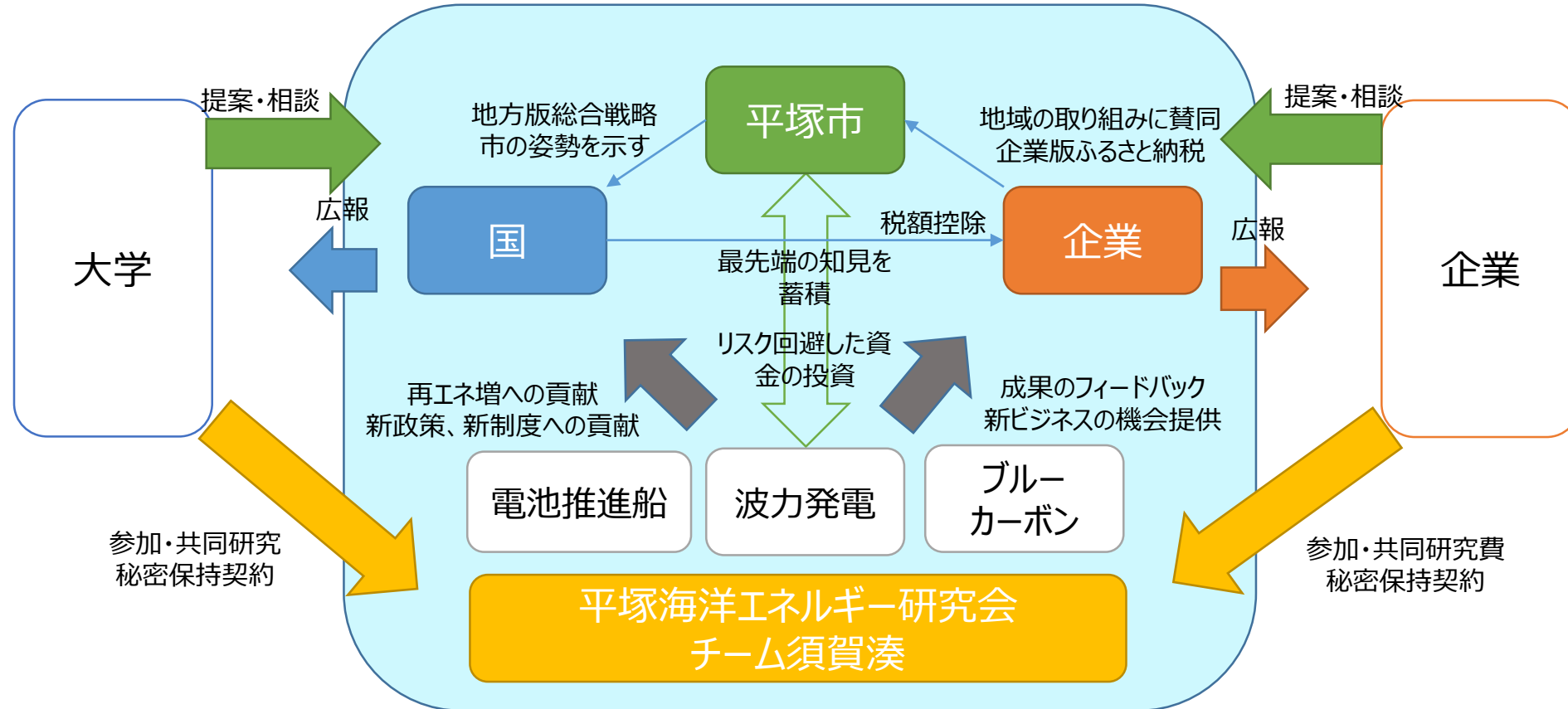
- 産業間や、企業・大学・行政の連携の強化
- 脱炭素に向けた技術開発への支援

## 本協定での連携協力事項

1. 海洋活用技術の研究開発に関すること。
2. 海洋再生可能エネルギー及び海中観測実装に係る**実証実験**に関すること。
3. 海洋再生可能エネルギーを活用した**新産業創出**及びそれを支える**ものづくり技術の高度化**に関すること。
4. 海洋再生可能エネルギーに関連した人材の育成に関すること。
5. 実証実験の公開等アウトリーチ活動に関すること。
6. その他本協定の目的を達成するために必要な事項

# 企業版ふるさと納税による産学公の新しい関係性をモデル化

## 知識生産エコシステムの構築とマネジメント＝知的対流の推進



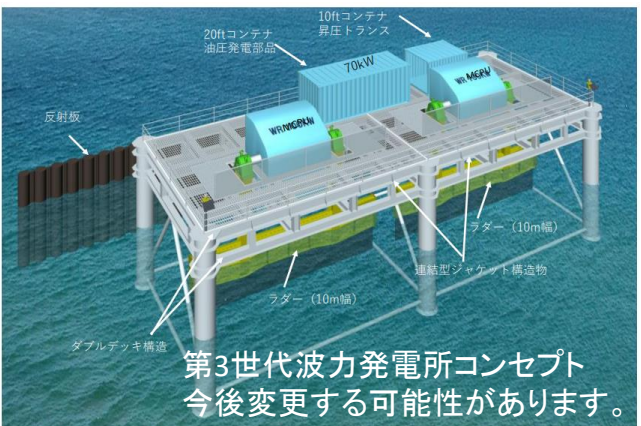
\*知的対流（平塚市の定義）

課題に対し、企業や大学、NPOなど様々な分野の人々が入り込み、議論を重ねることによって、その熱量が周りに波及したり、そこで生まれた解決策がまた別の課題解決にも使えるなど、**知識や熱量が対流していく事象**

\*参考：国土交通省の「ローカル版知的対流拠点づくりマニュアル」  
[https://www.mlit.go.jp/policy/shingikai/s104\\_kasegerukokudo01.html](https://www.mlit.go.jp/policy/shingikai/s104_kasegerukokudo01.html)



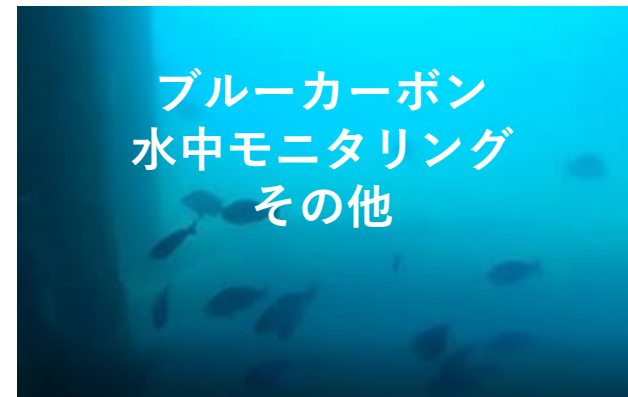
知的対流の推進



研究開発



人材育成



新しいシーズ

# 参考リンク

カーボンニュートラルを目指した波力発電関連分野での新産業創出促進事業

[https://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/sangyo/page33\\_00079.html](https://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/sangyo/page33_00079.html)

平塚海洋エネルギー研究会

[https://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/sangyo/page-c\\_01629.html](https://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/sangyo/page-c_01629.html)

平塚海洋エネルギー研究会 平成30年(2018年)度までの取組

[https://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/sangyo/page-c\\_01121.html](https://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/sangyo/page-c_01121.html)

Yahoo! JAPAN SDGsの記事

<https://sdgs.yahoo.co.jp/amp/originals/109.html>

環境省：脱炭素地域づくり支援サイト（6. **企業版ふるさと納税を活用した取組**：カーボンニュートラルを目指した波力発電関連分野での新産業創出促進事業）

<https://policies.env.go.jp/policy/roadmap/examples/>

内閣府：地方創生SDGs官民連携プラットフォーム（課題：**企業版ふるさと納税を活用した波力発電関連分野での新産業創出促進事業から脱炭素技術の実装へ**）

<https://match.future-city.go.jp/pages/platform/c301/2200340>

IEA-OES Annual Report 2020

<https://www.ocean-energy-systems.org/publications/oes-annual-reports/document/oes-annual-report-2020/>

海洋白書 2021

[https://www.spf.org/opri/projects/wp\\_2021\\_jp.html](https://www.spf.org/opri/projects/wp_2021_jp.html)

Ocean Newsletter第493号「海洋研究・開発への自治体の貢献 ～平塚海洋エネルギー研究会の取り組み事例から～」

[https://www.spf.org/opri/newsletter/493\\_1.html](https://www.spf.org/opri/newsletter/493_1.html)

\* 上記リンクは2024年1月19日アクセス確認

